

2020年2月21日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ル ッ タ フ ル ッ タ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 C E O 長 澤 誠
(コード番号：2586 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 徳 島 一 孝
TEL. 03-6272-3190

アサイーの造血機能性に関する研究論文発表のお知らせ

株式会社フルッタフルッタ（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：長澤 誠）は 2019年7月31日付のお知らせ（「アサイーの機能性研究発表会実施のお知らせ」）にあるとおり、千葉大学との共同研究としてアサイーの造血機能性研究を進めてまいりましたが、研究成果がこのたび国際科学雑誌 *Nutrients* に掲載されましたので、お知らせいたします。

1. 掲載論文について

同研究は、千葉大学大学院医学研究院・特任准教授(実験当時)国立長寿医療研究センター老化ストレス応答研究プロジェクトチーム・プロジェクトリーダー（現在）清水孝彦氏ら（Shuichi Shibuya, Toshihiko Toda, Yusuke Ozawa, Mario Jose Villegas Yata, and Takahiko Shimizu）がマウス実験に基づいてアサイーの造血機能を明らかにしたもので、論題は“Acai Transiently Upregulates Erythropoietin by Inducing a Renal Hypoxic Condition in Mice” (*Nutrients*, 2020, 12 533; nu12020533) です。論文の概要は次のとおりです(“Abstract”の訳)。

アサイーはブラジルアマゾン原産のヤシ科の植物であり、その果実にはポリフェノール、鉄、ビタミンE、不飽和脂肪酸などの栄養素が豊富に含まれています。近年、アサイーの抗酸化作用と抗炎症作用に注目が集まっていますが、造血作用に及ぼす効果についてはいまだ調査されていませんでした。本論文においては、マウスにアサイー抽出物を投与し、造血機能を評価しています。実験動物のマウスにアサイー抽出物を4日間与えると、赤血球やヘモグロビンが増加することが明らかになりました。その次に、一回の投与後に造血関連のマーカーを詳しく調べました。アサイーを投与すると、2～3時間後に造血を促すホルモン（エリスロポエチン）が増加しました。また、その増加には腎臓での遺伝子発現が高まることも合わせて発見しました。アサイー果実の摂取は、造血を促すことで活動性を高めることが期待されます。

なお、当論文の URL は次のとおりです。 <https://www.mdpi.com/2072-6643/12/2/533>

2. アサイーの機能性分析の重要性

当社としましては、今回の研究論文発表を臨床テストに発展させて参ります。

当社は2月13日に発表いたしました第3四半期決算短信において、今後の業績回復にむけての対応策のひとつとして、顧客の購買動機につながるアサイーの機能性の分析を掲げております。大学や企業との共同研究を続けるとともに、すでにオリンピアをはじめ、多くのスポーツ愛好者による使用実績が上がっており、2020 東京オリンピックに向けて、今回の研究発表はこの取り組みを加速する大きな要因となります。

3. 業績への影響

現時点では業績への具体的な影響は不明であり、判明次第お知らせいたします。

以上